

# 光栄の森

平成25年6月 毎月1日発行 第60号

発行者 光栄プロテック 吉竹

## 6月を迎えるにあたって

□

代表取締役 三田雅憲

今年はじめから4月中旬にかけて大きな物件が重なり合い、本当にたいへんな状況の中、みんなで力を合わせ頑張れたと心から感謝しております。各班長も弱音を吐くことなく、すべてのものごとを前向きにとらまえて協力し合ってくれたと思います。

2月、3月には新メンバーが加わり、彼らもまた共に頑張ってくれました。私もそうですが、彼らから学ぶことも多く「謙虚な気持ちを忘れたらいけない」と改めて感じております。また、社員みんなが「一丸となって仕事に取り組み一緒に汗を流す」ことができていることも実感しております。今後も、より一層その気持ちを高めていけたら素晴らしいと考えます。

先日テレビを観ていましたら、女子ビーチバレー日本代表選手の方が高校時代の恩師と会っていろいろな話をされていました。当時のクラブスローガンが『今を生きる』であったこと、高校卒業後いろいろな人生経験(オリンピックのアジア大会で負けたこと)を経た上で今も感じることは、やはりこの『今を生きる』という考え方が本当に大切であるということでした。我々は過去を悔み、未来を不安に思う生き物です。キザで偉そうな言い方ですが、過去は「今」の積み重ねであり、未来も「今」の積み重ねにすぎないと思います。だからこそ「今」を大切に、その一瞬一瞬にベストを尽くし、悔いのない行動をとるべきなのです。自分自身も全くそれができていないがために、ある時は喜び過ぎある時は不安で押しつぶされそうになります。しかし、しっかりとした人生の目標を持ち、今この瞬間を大切に生きていくなれば大きくぶれることはないと思います。

“この厳しい世の中を大過なく生きて行くには「努力」と「感謝」が最善の策です。これらが継続できれば、未来は好転し始めます。この世は先が見えず不安だからこそ修行になるのです。苦しい中でも明るく努力を継続する人には必ず進化が起こります。”

上の文章はある方が書かれたものですが、とにかく人間は、初めは努力もし感謝もしますが、そのうち当たり前になって、努力をやめ不平不満を口にしてしまいます。初心を忘れてしまうからです。私たちが偉そうになった時は初心を忘れず原点に戻り、努力や感謝を忘れぬようにしたいものです。

6月から9月までいろいろな仕事が皆さんを待っていてくれています。10月以降はと言われると私も多少不安になりますが、今を大切に一生懸命努力して営業すれば、きっと開けてくると信じて頑張りたいと思います。

7月には恒例の社員旅行を企画しております。みんなで喜び楽しみ、酒を酌み交わせるよう、この暑い季節を乗り切りましょう。

